

地域活性化特別枠

草の根技術協力（地域活性化特別枠）事業概要

I. 提案事業の概要	
1. 国名	インドネシア共和国西スマトラ州ソロク市
2. 事業名	ソロク市における浄水技術改善事業
3. 事業の背景と必要性	インドネシア共和国は急速な経済発展を遂げているが、インフラ整備が立ち遅れており、特に市民生活で必要となる安全な水道水の安定供給が急務となっている。そこで、ソロク市における水道施設の浄水技術を改善することで、「飲める水道水」に転換する。
4. プロジェクト目標	ソロク市職員自らが浄水場で「飲める水道水」を安定的に生産ができて、市民に供給できるようになる。
5. 対象地域	ソロク市
6. 受益者層 (人数規模)	ソロク市水道公社職員（62人） ソロク市民（約6万人）
7. 活動及び期待されるアウトプット	<p><アウトプット>浄水技術の改善</p> <p>1.沈澱処理技術の改善（H27）：指標 処理水濁度2度以下 配水技術の改善：指標 水収支管理表の作成、管理 ・凝集剤の効率向上、ポンプ設備等の効率向上、水収支管理の向上</p> <p>2.ろ過処理技術の改善（H28）：指標 鉄0.3ミリグラム/リットル以下、マンガン0.05ミリグラム/リットル以下 配水技術の改善：指標 水収支管理表の作成、管理 ・鉄・マンガン処理の向上、ポンプ設備等の効率向上、水収支管理の向上</p> <p>3.滅菌処理技術の改善（H29）：指標 細菌除去 配水技術の改善：指標 水収支管理表の作成、管理 ・滅菌処理システムの検討、ポンプ設備等の効率向上、水収支管理の向上</p> <p><活動></p> <p>1-1：現地施設での技術指導、改善措置 1-2：フォローアップ（持続性の確認、課題の整理） 1-3：改善実績及び評価 ・アウトプット2、3項についても同様</p>
8. 実施期間	平成27年7月～平成30年3月
9. 事業費概算額	55,586千円
10. 事業の実施体制	日本側：豊橋市上下水道局、豊橋市、愛知県企業庁、豊橋技術科学大学、32名古屋未来研究所 インドネシア側：ソロク市水道公社、ソロク市、西スマトラ州
II. 応募団体の概要	
1. 団体名 (提案自治体)	豊橋市
2. 対象国との関係、協力実績	ソロク市とは平成25、26年度水道技術支援事業にて協力